

令和8年度教育DX推進に向けた管理職研修（第1回）

教育DXの更なる推進を目指し、管理職として児童生徒1人1台端末を最大限活用した学習環境を構築するとともに、ICT活用による教職員の業務の効率化を推進するために必要な知識等を身に付けることを目的として、標記研修を実施しました。

1 対 象 県立学校・市立高等学校・市立特別支援学校の管理職

2 日 時 令和8年5月13日（水）14:00～15:30

3 研修形態 オンライン

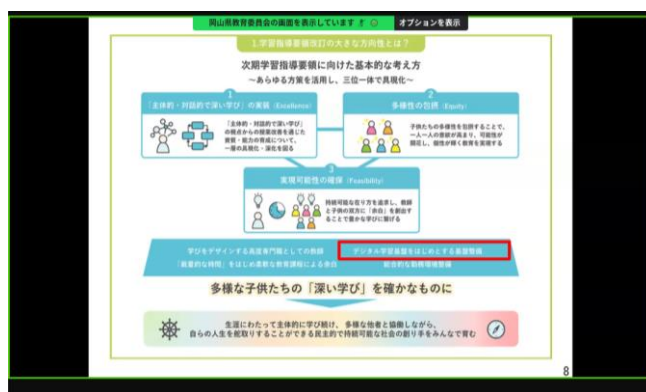
4 研修内容

(1) 教育情報化推進室から説明

- ・ デジタル学習基盤を前提とした授業づくりに関する最新動向
- ・ 次期学習指導要領に向けた基本的な考え方
- ・ 県立学校における1人1台端末活用の現状と課題
- ・ 第4次岡山県教育振興基本計画の目標指標について
- ・ 管理職が主導すべき「教育DX」の戦略
- ・ 校内における教育の情報化の現状把握について
- ・ 中高接続を意識したデジタル学習基盤活用について
- ・ 生成AIパイロット校事業（B区分）について
- ・ 教育情報化推進が実施する研修について

(2) グループ協議

- ・ 令和8年度教育DXの取組計画



授業DXチェックリスト

【授業におけるデジタル学習基盤活用（授業DXチェックリスト）】

- ・ ステージ1からステージ3で構成
- ・ 教員一人ひとりの授業DXスキルの確認と今後目指すべき次のステージの理解

ステージ1（授業を電子化する段階）

1 教材のマルチメディア化	これまで文章・口頭・白黒図のみだった教材を、画像・動画・カラー図・アプリ等で提示する。
2 資料配布をデジタル化	プリントや資料をClassroom等で配布する。
3 オンライン連絡・授業指示	メール、グループワーク、授業に関する指示をClassroom等で投稿する。
4 小テストを端末で実施	小テストや確認テスト、フォーム・Canva・外部アプリ等で実施する。
5 振り返りの電子化	フォーム等で理解度や学習態度の振り返りをさせる。
6 提出物をオンライン提出	プリント・ノートの写真や文章を、Classroom等で提出させる。
7 電子録音・録画の利用	授業や用語、概念を電子録音やインターネット等で調べさせる。
8 オンライン配信・動画撮影	授業を配信したり、解説動画を撮影しアップロードしたりする。
9 課題確保やアドバイスの個別配信	Classroom等を活用し、学習進捗・提出状況等に応じてターゲットを絞って指導する。

ステージ2（学びを共有し深めたりする段階）

1 共同編集で思考の共有	スプレッドシート・Canva等で生徒にアウトプットや他者参照の機会を与えている。
2 学習履歴の活用	小テスト・提出物・授業振り返り等の記録を、スプレッドシート等に蓄積する。
3 相互評価	他の生徒の解答や考えにコメントや評価を返したり、学習成果の相互評価をしたりする。
4 多様な課題提出	作成課題、支援・プレゼンの録音、作問データ、プログラム等を投稿したり提出したりする。
5 反転学習	新しい單元をデジタル教材・生成AI等で生徒が家庭で学習し、授業でアウトプットや協働する時間を設ける。
6 リアルタイム協働アプリ	Mahout・Mentimeter・Canva・Chat等で、生徒・教師がリアルタイムにつながり協働しながら学習する。